

## 本校の教育活動の特色と大事にしていること

本校は大田区立の小学校です。大田区および大田区教育委員会の方針のもと、保護者、地域の皆様の信託に応えられるよう、その使命と責任を果たすことに全力を尽くします。

平成20年10月に「大田区基本構想」が策定されました。将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」を実現するため、基本理念のもとに、「子育て・教育・保健・福祉」領域の「目指すべき姿」としての基本目標及び個別目標があります。学校教育に関連して、

基本目標1 「生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち」

個別目標1-1 「未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします」

が挙げられています。そして、

学校では、子どもたちがのびのびと成長できる教育環境を整えます。地域の特性や多様性を尊重し、子どもたちが学ぶ喜びを知り、社会性と生きる力を身につける学校教育を進めるとともに、学校、地域、家庭などが力を合わせて子どもたちの学びを支え、教育力を高めます。

と、学校教育の個別目標が具体的に述べられています。

本校では、これまで行ってきた教育活動の特色を「大田区基本構想」の視点でとらえなおしました。それを、「本校の教育活動の特色と大事にしていること」としてまとめました。

### 《 本校の教育活動の特色 》

- (1) 学び合い
- (2) 交流
- (3) 環境

### 《 本校の教育活動で大事にしていること 》

- (1) 返事
- (2) あいさつ
- (3) あとしまつ

## 本校の教育活動の特色 「学び合い」

本校では、子どもたちの基礎的な知識・技能の確実な習得とともに思考力・判断力・表現力を育てるために「学び合い」を大事にしています。

特に、話す・聞く場面では、

- ・自分の考えを相手に分かってもらえるように話す
- ・友だちの考えを聞いてそれを活かす

力を育てることが必要です。一問一答形式や一斉画一教え込みの指導法では力がつきません。授業の展開を工夫して子どもたちが「話すこと・聞くこと」を大事にできるようにしていくことが重要だと考えています。

(1) 国語科では「話すこと・聞くこと」が十分できるような工夫として、

- 1 相手を見て・一生懸命・うなづきながら・鉛筆を置いて・終わりまで聞く

「聞き方あいうえお」、簡単にまとめて・聞こえるように・口を大きくあけて決して急がずに・言葉遣いに気をつけて話す「話し方かきくけこ」を習得させる。②話し合いの目的を意識させ、円滑にいかなかったら目的を確認させる。③話し合いの手順を繰り返して指導し慣れさせる。④話し合いのグループの規模を変える。⑤話し合いを振り返り感想を発表する、などに留意しています。「話し合ってよかった」との子どもたちの感想が聞かれるようになりました。

(2) 算数科の授業（計算問題）では、1時間の授業展開を

- 1 問題の把握 ②立式 ③計算の仕方を考える ④それぞれの考えを発表する ⑤計算の仕方をまとめる ⑥適用問題に取り組む ⑦学習感想を書く、ようにしています。

「話すこと・聞くこと」が十分できるような工夫として、

- 1 自分の考えをボードに大きく書く ②説明して質問を受ける ③いくつかの考え方の違う点と共通点を見つける ④友だちの考えのよさや分かったことをノートにまとめる などに留意しています。また、算数科の特徴である、既習事項を手掛かりに新しい問題に取り組めるよう教室には算数コーナーを設けています。

授業以外に、本校では放課後に算数の補習で、6年生が4年生を教える機会を取り入れています。6年生は4年生の頃の自分を思い浮かべながらいねいに教えています。「どのように説明したら分かってもらえるか考えながらやっています」「よく間違えました。分からない子の気持ちが感じられます」など、

感じる・考える・表現する6年生を頼もしく思います。

## 本校の教育活動の特色 「交流」

本校では、子どもたちの豊かな感性と社会性を育て、学びの広がりや深化を目指した「交流」を大事にしています。異なる学年の子どもたちとの交流や地域の人々との交流を通して、

- ・相手の気持ちや立場を大事にした行動がとれる
- ・ふれあいを体験して人の気持ちの温かさを感じる
- ・教室で学んだことを確かめたり深めたりする

機会を数多く用意しています。言葉だけやバーチャルな世界ではなく、子ども自身が実際に体験して身に付けていくことが重要だと考えています。

たとえば、異なる学年の交流として、

### (1) 2学年の合同遠足

1・2年生は多摩川台公園、3・4年生は海の公園での潮干狩り、5・6年生は鎌倉方面。前年度に体験した上級生が下級生をリードします。

### (2) 縦割り班活動

上級生は下級生も楽しめるような活動を計画して行います。

次に、地域の人々との交流として、

### (1) 「おなづかジョイントコンサート」

おなづか小学校の子どもたち、PTAコーラス、保育園の子どもたちや地域のコーラスグループが一堂に会してコンサートをします。音楽の楽しさや美しさに心を動かされます。

### (2) 菊づくり

3年生が地域の菊づくり名人から教わり菊を育てます。育てた菊を商店街にプレゼントします。名人に感謝し、商店会の方から感謝される活動です。

### (3) 商店街の見学

お店や工場の人たちの工夫や願いを直接聞きます。それをまとめて新聞づくりをします。地域の学習が深まります。親切に教えてくださる方々と、その後もお会いしたときにあいさつが交わせます。

### (4) 地域清掃活動

保護者、地域の方々とともに、公園、緑道、ふれあい蓮沼などの清掃活動をしてまちをきれいにしています。掃除の仕方を大人から教わります。

### (5) 学区域にある幼稚園児・保育園児との交流

1・2年生は「おにいさん、おねえさん」らしく行動して、一緒に遊んだり、話をしてあげたりしています。

## 本校の教育活動の特色 「環境」

本校では、子どもたちの学びと生活をよりよいものにするために、「環境」の視点を大事にしています。子どもたちの学習環境や生活環境を整えることをはじめ、地球的規模の環境問題への関心や地域の主要な景観としての学校環境の整備に努めています。

- ・教科等の学習に役立てて、学習を確かなものとする
- ・植物の成長を楽しみにして世話をするやさしい心を育む
- ・地球環境問題への関心を高める
- ・植物によって四季の移り変わりを感じる
- ・きれいな環境を心地よいものと感じる心を育む

### (1) 本校に植えてある植物を使って

- ①「葉っぱのレントゲン」などのネイチャーゲームを楽しむ。
- ②クワの葉をカイコのえさとして与える。
- ③しおりづくりをして、生活に役立てる。

また、校内には食べられる実がつく植物が約30種類あります。四季折々に実る果物を心待ちにしている子どもたちも多いです。

### (2) 花壇を使った栽培

各学年では、イネ、ヘチマ、菊、サツマイモやカブなどの野菜類を育てています。収穫を楽しみにして栽培し、学習を確かなものにしていきます。

### (3) 地球環境問題に関連して、

- ①3年生はアルミ缶回収に取り組み、得たお金を社会福祉協議会に寄付しています。区民のボランティア活動の資金などに使われています。
- ②保健委員会の子どもたちは、ペットボトルのキャップの回収に取り組み、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に協力しています。
- ③壁面緑化として、パッションフルーツを育てています。

### (4) 上記以外の環境整備

- ①校舎内外の清掃、廊下の壁の活用、図書室や教室環境の整備に努め、きれいな環境を心地よいと感じる子どもたちを育てるようにしています。
- ②子どもたちが場にふさわしい言葉を使い、心のすれ違いが生じないように指導しています。そのためにも教職員自らが言語環境の大切さを自覚して子どもたちに話しかけるよう心掛けています。
- ③学校は地域の主要な景観です。地域のグループである「おなづか園芸クラブ」の方々のお力添えをいただいています。さらに、園芸委員会の子どもたちとの共同作業の場をつくり、子どもたちと交流しています。

## 本校の教育活動で大事にしていること

本校では、規範意識をもち自律的に行動する子どもたちを育てるために、  
「返事・あいさつ・あとしまつ」を大事にしています。

単にきまりを守る人間ではなく、社会の平和と繁栄を築いていくことに貢献しようとする気持ちをもって、そのために規範を守ろうとする人間を育てたいと願っています。

「返事・あいさつ・あとしまつ」は学校の集団生活の場面で繰り返し出てきます。ですから常に繰り返して習慣として定着するようにしたいと思います。よい習慣が身に付いてこそ、子ども自身的人格形成が図られ、より高い規範意識がもてるようになります。

### (1) 「返事」－名前を呼ばれたら、しっかりと返事をする－

わが子の誕生。かけがえのない命を授かった親は、わが子が健康で幸福な人生を歩めるようにとの願いを込めて名前をつけます。その名前です。大事にしなければなりません。**返事をすることは自分を大切にすることにつながります。**また、声を掛けた側にしてみれば、無視されたように感じます。

本校では、授業中にしっかりと返事をするよう指導しています。

### (2) 「あいさつ」－あかるく・いつも・さきに・つづけて－

ひとりで生活しているわけではありません。ひとりで学んでいるわけではありません。みんなが集まって生活し、友だちとの学び合いで学習が広がり深まっていきます。**あいさつをすることは自分の心を開き、相手を大切にすることにつながります。**

本校では、学校はもとよりまちで知り合いの方に会ったらあいさつするよう指導しています。

### (3) 「あとしまつ」－みんなで使うものを大切にする－

学習や生活で使う大事なものを粗末にしていいわけはありません。いい加減に扱って汚したり壊したりしては、他の人が使えなくなります。また、社会のだれかが作ったものです。多くの人の労力とお金がかかっています。**あとしまつをすることは、集団と社会を大切にすることにつながります。**

本校では、あとしまつをしっかりして、みんなで使うものを大切にしようと繰り返し指導しています。